

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な社会的課題とそれに取り組む団体・組織に関する知識を身に付ける ・国際的な社会的課題を考察できるように調査研究方法と語学力を高める 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題に対する自らの関心に気づく・問題を自分事にする ・多角的に国際的な社会問題を考察できるよう、批判的思考能力を高める ・学びの成果を社会に向けて発表する 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> ・「何」を「なぜ」探究したいのかを追求し、それをすることがどのように社会に貢献するのかを考える ・世界にある多様な価値観を尊重する ・直接の出会いの中から学ぶ・違いの中から学ぶことができる ・先人の歩み、先行研究から学ぶ、謙虚な姿勢を養い、知の集積を目指す 	
下位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> ①国際的な社会的課題やそれに取り組む組織について、自分の言葉で英語で説明することができる ②調査・研究を行うためのリサーチメソッドを理解し、自分でそれらを運用することができる ③海外の高校生と英語を用いて国際的な社会的課題について問題の本質を理解し、解決策を提案できる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> ①社会的課題について多角的・批判的な視点から捉える事を通して、自分の価値観を検証することができる ②国際的な社会的課題の解決方法について仮説を立て、調査を行い、検証することができる ③当該課題に向き合う中で、自分の取り組みや探究の成果について英語で他者に発表することができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> ①世界の中に多様な価値観があることを受容し、自分がそれらにどう関わって生きていくのかを方向づけることができる ②世界の中の日本の位置づけを意識しながら、これまでに解決が困難だと考えられてきた国際的な社会的課題について自らの研究により貢献する 	

授業日	4/25(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】② ----- 本時の具体的な目標 ・「探求」学習図鑑を利用して、今後の研究の流れや手法の確認 ・自分の研究を客観視させる ・google scholar 等を利用して先行研究を調べさせる		
時間	30 分	書籍を利用し、研究手法の解説	
授業内容	30 分	各自で付箋を利用し、X/Y 軸を考え、調べた先行研究がどのような分布になるか、マッピング。そのうえで、自分の研究の強み・弱みを客観的に把握させ、今後の課題を見つける。	
	30 分	各自の研究の方向性を確認させて、先行研究を学ぶ。	
評価方法	特になし		
宿題指示	先行研究を知る・調べる（7 から 1 0 個程度） リサーチトピックス		